

○コシヒカリの1回目の穂肥時期は例年より早まる見込みです。必ず生育診断を行い、慎重に施用を判断しましょう。  
 ○早生（ゆきん子舞、こしいぶきなど）は2回目の穂肥時期です。後期栄養の維持のため、確実に施用しましょう。  
 ○梅雨入り以降、葉もちが発生しやすい状況が続いています。ほ場をよく見回り、発生がみられたら防除を行いましょう。

## 1 現在の生育状況（6月20日データ）

（調査地区平均）

	草丈（cm）		茎数（本/m <sup>2</sup> ）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）
コシヒカリ	40	105% (38)	339	89% (380)	8.2	-0.3 (8.5)	38.3	0.3 (38.0)
こしいぶき	47	131% (36)	526	120% (440)	9.1	0.3 (8.8)	41.0	1.0 (40.0)

- ・コシヒカリ：草丈「やや長」 茎数「少」 葉数「並」 葉色「並」
- ・こしいぶき：草丈「長」 茎数「多」 葉数「並」 葉色「やや濃」
- ・中干しは出穂1か月前までに終了しましょう。長く干していると、幼穂の伸長に悪影響を及ぼします。間断かん水に移行し地耐力を確保するとともに、上根を健全に維持しましょう。

## 2 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥施用時期の目安（6月15日現在）

本年の出穂期は平年よりも3日程度早いと予想されます。

品種名	田植日 （例）	予想 出穂日	穂肥1回目		穂肥2回目		2回合計 窒素量 (kg/10a)
			出穂前日数	施用時期	出穂前日数	施用時期	
新潟次郎	5月3日	7月13日	25	6月18日	14	6月29日	6
ゆきん子舞	5月3日	7月20日	25	6月25日	14	7月6日	6
こしいぶき	5月5日	7月22日	23	6月29日	14	7月8日	3.5
コシヒカリ	5月10日	8月1日	18	7月14日	10	7月22日	2~3.5

- ・分施の場合は、必ず幼穂長を確認し施用時期に遅れないように湛水して穂肥を施用しましょう。
- ・コシヒカリは草丈が長い場合や葉色が濃い場合は倒伏するので、1回目の穂肥量を減らすか2回目だけの施用としましょう。
- ・2回目の穂肥は、後期栄養を維持し、品質低下を回避するために必ず施用しましょう。

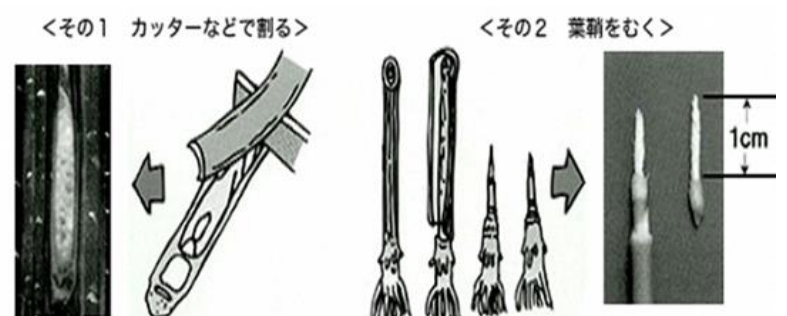
## 3 生育診断

ほ場ごとに幼穂長を確認してから穂肥を施用しましょう。

### 【幼穂長と出穂前日数の目安】

出穂前日数	23日	20日	18日	12日	10日
幼穂長（cm）	0.1	0.2~0.4	0.5~1.0	4~6	8~11

〈幼穂長の確認方法〉



### 【穂肥施用量の目安】

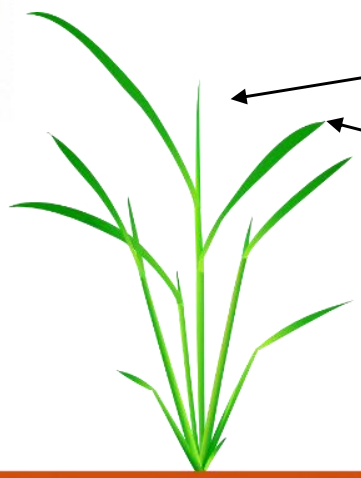
品 種	穂肥使用（例）	1回目	2回目
ゆきん子舞	穂肥 520号（N成分 15%）	23kg/10a（N 3.5kg）	17kg/10a（N 2.5kg）
こしいぶき	穂肥 520号（N成分 15%）	10kg/10a（N 1.5kg）	13kg/10a（N 2.0kg）
コシヒカリ	越後の輝き有機50穂肥 （N成分 12%）	8~12kg/10a （N 1.0~1.5 kg）	8~16kg/10a （N 1.0~2.0 kg）

◎ 基肥一発体系は必ず1回目穂肥時期に稲姿を確認し、目安以下の葉色にさめた場合は、基肥一発体系であっても穂肥施用を検討しましょう。

【ポイント】

・生育診断をして穂肥量を調整しましょう！

ほ場内の平均的な株を測定



現在伸びている葉

その2枚下の葉



葉色カラースケールで確認

1回目の穂肥時期は、籾数が確保される時期ですが同時に下位節間の伸長する時期でもあります。

コシヒカリは倒伏しやすい品種のため、必ず生育診断をして穂肥量を調整しましょう。

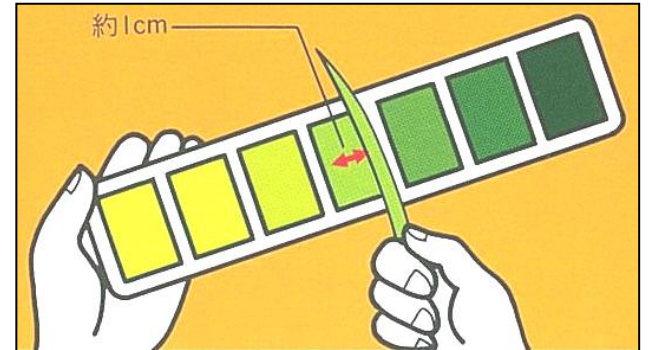
① 草丈を測定しましょう

② 葉色を測定しましょう（右図参照）

◎ 1回目穂肥時期（出穂18日前）の稲姿の目安

品種	草丈 (cm)	葉色 (カラースケール)	葉色 (SPAD)
コシヒカリ	75	3.5~4.0	33 (31~35)

【葉を板から、1cm程離して平行に見る】



(注1) 草丈、葉色の数値が上表より大きい場合は、1回目の穂肥は少なめにするか施用しないようにしましょう。

(注2) 1回目の穂肥の前に葉色が葉色カラースケールで3.0以下に低下した場合は、穂肥施用の時期を早めましょう。

コシヒカリ1回目穂肥施用の目安

出穂 20 日前（幼穂長 0.4cm 時）の草丈と葉色診断結果により判断

草丈 75 cm以下、葉色 3.5~4.0 (SPAD 値：31~35) を目指しましょう。

SPAD		31未満	31~35	35以上
カラースケール		3.5未満	3.5~4.0	4.0以上
草丈 (cm)	70未満	●	○	△
	70~75	○	○	△
	76以上	△	△	×

【右表の見方】

- → 高温・少雨が予想される場合は遅れないように注意
- → N成分で 1.0~1.5kg/10a 程度散布
- △ → 散布時期を遅らせる、もしくは量を減らす
- × → 1回目は散布しない

4 今後の水管理

肥料吸収を促進するために、間断灌水から飽水管理に移行しましょう。

飽水管理：水尻を止水し、自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が溜まっている箇所が散見されるようになったら灌水をする管理方法。

※高温時は田面の水が熱くなるので水の溜めっぱなしは避けましょう。



〈足跡に水が溜まっている状態〉

◎ SNS・メールで情報提供しています！

＜JA えちご中越柏崎地域営農情報＞



アカウント ID：@882qbimy



＜柏崎農業普及指導センター メールマガ＞



[ngt111840@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt111840@pref.niigata.lg.jp)

- こちらのアドレスに、
- ①件名は「メールマガジン申込」
  - ②本文に「氏名」、「電話番号」を記入の上、送信してください。

【お問い合わせ先】

- 全地区共通  
柏崎農業普及指導センター 21-6263
- 東部田尻・西中通・高柳  
かしわざき営農センター 21-0220
- 南部高田・中央柏崎地区  
かしわざき南部営農センター 41-6087
- 刈羽・西山地区  
かしわざき北部営農センター 45-2258

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区  
柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）